

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

January 2018

Écoutez Bien Vol.35 No.398

1

立川立飛流鏑馬 総括



砂川の大幟 [2]

案内人：豊泉喜一氏

幕末から明治初期にかけて砂川村には前号で紹介した五番組の他に八番組、九番組、十番組と併せて大幟が4基存在する。前回に続き他の大幟を紹介する。

十番組大幟

十番組の幟は嘉永五（1848）年に制作され、竿を始め幟、彫刻、挟み木等すべて揃っていて、大きさも関東一ではないかといわれるほど大きなものである。幟竿の全長は22m、これを支える4枚の挟み木は樺製で1枚約300kgもある。幟は長さ14.6m、幅は通常の倍2.2mもあり、そこに「御祭礼」の三文字が書かれ、下から眺めた時、文字が同じ大きさに見えるよう、上を大きく下の文字を小さくして書かれている。書は谷保村（現国立市）の本田覚庵である。この飾り彫刻はことわざ「獅子の子落とし」をモチーフにしたものだが、彫刻師は記名が無いので不明。

現在立川市の文化財に指定され、幸町にある古民家園小林家住宅の敷地内に保管されているが、平成元年第一回立川よいと祭りの折、昭和記念公園みんなの原っぱで揚げられたが、あまりにも大きいためもう二度とその姿は見られないかもしれない。

九番組大幟彫刻

現在個人が所蔵しているが、彫刻以外の部材はない。彫刻のモチーフは「七福神」で2枚の樺材に彫られている。彫刻師は前号で紹介した五番組と同じ後藤左一寿信である。幟があれば年代が特定できるが、五番組の幟が万延元年であり、この幟も同時代に制作されたものと思われる。現在この彫刻以外何も残っていないが、ここの彫刻から見て五番組のものと同程度の大きさだったと思われる。

八番組幟彫刻

残念ながらここでもこの彫刻以外幟を構成する部材は何も残っていない。ここの彫刻は五番組と同じ昇り龍と降り龍だが、五番組のものとは構成が異なり「龍」が主体で他の彫刻はない。そのため龍が非常に大きく、およそ2mもあり、見るものを圧倒するような大きさである。1体は荒海から天を目指す昇り龍。もう1体は再び波間に戻る降り龍がモチーフになっていて、この彫刻の大きさから想定すると、八番組の幟も十番組の幟に匹敵する大きさではなかったかと思われる。この彫刻も作者は後藤左一寿信であり、彼は五番組、八番組、九番組と三部落の幟彫刻を制作している。これを見るとこの時期砂川では次々と大幟が作られていたようだ。

現在、八番組と十番組の幟彫刻は、立川市役所ロビーに常設展示されているので一見をお勧めしたい。

十番組飾り彫刻「獅子の子落とし」一対



九番組飾り彫刻「七福神」一対



八番組飾り彫刻一対



街とともに70年

伊勢丹立川店 店長 亀田真理さん

立川駅南口に伊勢丹がやってきたのは昭和22年。

4回の移転を経て現在の地へ。

店長に、70周年を迎えたこれからを語ってもらった。

——前任の石塚店長も女性でした。感じが似てらっしゃいますよね。

亀田 よくそう言われます（笑）。新宿店がリニューアルする時に、石塚が営業部長で上司でした。私が商品の担当部長で部下として仕事をしていたんです。

——女性、女性というのはさすが伊勢丹さん、という感じです。

亀田 世の中的にもちょうどそういう流れだったかもしれませんが、伊勢丹でも、部長職に女性を重ねるというのは初めてだったのではないのでしょうか。

——新宿、日本橋と来られて、立川はどうですか？

亀田 どこへ行っても商売するのは同じですから。新宿は街が大きくて、昼も夜も同じくらいの人口が入れ替わる。一大商業地で、働いている人も多い。商売するには恵まれた地です。そこから、基本的に今はオフィス街である日本橋に行って、それでもそこで商売する意味と可能性というものをぜひぶん考えましたね。

——今は日本橋もずいぶん変わりました。

亀田 その日本橋のリニューアル再開発計画を経験してから立川に来ましたから、立川で商売するということをフラットに考えた時、すごくポテンシャルが高いと感じました。乗降客数も増えているし。

——確かに人は増えています。

亀田 これだけ街が変わろうとしている時には、私たちのような店からすると、ライバル関係が変わってきているんです。——百貨店対抗ではない。

亀田 はい。いわゆる百貨店は八王子にもなくなってしまいましたし、業態を変えつつあるところもあります。お客様にいいものがある程度時間をかけてお買上げいただくという点では、私たちのお店は体制は調べています。でも、お客様の動向自体が相当変わってきていますし、街自体も変化していますから、次の行動を起こすには、お客様の变化と歩調を合わせていかないとけない、そんなタイミングなのかなと思っています。

——立川の客層をどうお感じになっていすか？

亀田 立川はとてもバランスがいいと思います。ずっと市内にお住まいの方は世代が変わっても代々、その場所に住んでいらっしゃる。住みやすいのだと思います。——そうかもしれないですね。

亀田 どこでも生まれ育ったところが住みやすいということはあると思うんです。でも、住み続けられるということが大事。マインドがあっても、街がそうではない方向に発展していくということもありますから。そうすると住みづらくなる。でも立川は発展して、より住みやすくなっていますよね。だから働く人も働きやすいんじゃないのでしょうか。一方で、JR東日本様の輸送努力などで若い人たちにとっても、住みやすい環境になってきていますよね。速い電車が停まったりとか、本数が増えたりとか。都区内より地代も安いのか若い人が多い。——確かに交通の要衝ですし、多摩地域の中心ですから。

亀田 そうすると、私たちとしては、もともと支持してくださっている方々を大切にするのと同時に、新しい方々の流入はチャンスだと感じています。

——店長はどこのご出身なんですか？

亀田 川崎なんです。川崎もすごく変わりました。立川より規模が大きかったのですが、変化の方向性は似ていると感じます。もともと賑わっていた東口ではなく、大きな工場跡地を利用したダイナミックな開発で、いろいろなものを細かい単位で小集積しました。交通の便がいいので銀座にもすぐ行けてしまう。だから銀座へ行った方がなんて思っていたのですけれど、できてみたらショッピングセンターなんて日本一でしょう？ そういう意味では、もともと住んでいる人にとっても住みやすく、新しく入ってきた人達は新しい側面を見て住みやすいと感じる。今、立川に同じような印象、似ているなと感じています。中身が似ているというよりも、街がグッと変わっていく途にあるという点で似ていると感じていますね。

——規模は少し小さくても、大きな土地があってその開発という点では立川も同じですからね。

亀田 同様に、お店に求められていることも変わってきています。お客様の店の使い分けが進みましたよね。私が入社した時はメールなんてなかったし、電子決済ってちょっと怖いという時代でした。急激に変わって始めて、まだ10年くらい。そういう意味では変わり目に差しかかっている感があります。お客様が私たちのようなリアルな店

亀田真理 氏

株式会社三越伊勢丹 百貨店事業本部 伊勢丹立川店長・執行役員。
1990年、バブル期に伊勢丹に入社。新宿伊勢丹の2階婦人服で15年。ベビー・子ども服の商品を扱いバイヤーとして5年、新宿店がリニューアルした時から、大人の婦人服を新宿で2年、その後新宿、銀座、日本橋の3店舗の婦人服を担当し2年、日本橋の婦人服、子ども服の営業部長を経て、昨年立川へいらした。人懐こい笑顔が魅力の入社27年、バリバリの職業人だ。

に何を求めているらっしゃるのか、まだまだ変化中というタイミングだと思いますね。今後リアルな店にもう役割はないかと言えば、絶対にそんなことはないわけで、逆に、きちんと人を立てていますので、以前より求められていることが高度になってきているのではないのでしょうか。

——主婦が買い物の後に高級レストランでお食事という時代もありました。

亀田 「有閑マダム」という層は減りつつあると思います。お仕事をリタイアした方でも今は別のことで忙しい。自由な時間があるわけではないんですね。買い物＝レジャーではなく、タスクになっている面があります。それをタイムセービングだけで対処しようとすると、ECだとか駅に近いところになわないます。タイムセービングという概念は最低限必要ですが、タスクで来た買い物が何か心豊かになる、その結果、買ったもので生活が豊かになる、そのための最良な選択を提案していくことがこれから私たちのような店に求められることかと思っています。今でももちろんそのようにしていますが、今までトラフィックでお客様が多かった時には「色違いありますよ」という対応でもよかったわけです。でもこれからはそれだけではだめで、まずはお客様にきくことから始めなければいけないのだらうと思っています。——というところ。

亀田 私たちのところへわざわざ来てくださる方の中には、なんとなくこんなものが欲しいのだけれどはっきりした答えがないという方も多い。お話をしながらお客様の中にあるものをクリアにしていくというプロセスが必要です。皆さん、口コミをご覧になるでしょう。自分では決められない、だから誰かの意見を参考にする。その時に、売り場に立っているプロの裁量が求められるわけです。個を大事にする時代、それぞれの個性的な裁量が求められるんです。最良の選択のアドバイス、決めるということへのお手

伝いですね。

——でも、同じ商品だったら安いところで買ってしまおうのではないですか？

亀田 ショールーミングということは、もうずっと以前から言われていたことです。百貨店で実物をご覧になって納得されたら、ECや量販店で同じものを購入されていていいわけ

です。でもショールーミングで終わらせない、正価でご購入いただく。そこに、合理的な判断にお応えするプロフェッショナルな対応が信頼につながる瞬間があるわけですね。——だとすると、「人」が大事ですよ。

亀田 そうなんですよ！ 昔も今も百貨店はある意味ダイバーシティーなんです。伊勢丹の雇用の社員もいて、お店の中で一緒に働いていただいているお取引先の方もいて、でも目標は一緒なんです。このお店でなんとかパフォーマンスを上げようという時、私もそうですが、各マネージャーさん、働いている全員が同じ気持ちになります。

——自衛消防審査会の時、その気持ちはよく伝わってきました。ああいった活動に人を選出するのも今の時代は大変なんだそうですね。

亀田 以前より人を潤沢に配置することがしづらい。特に販売の仕事は大変なので、以前ほど人気はなくなってきています。人と接する仕事ですし、見た目ほどルーティーンなようでそうではないんです（笑）。毎日気づきがあって、自分が成長できることを体感できると、面白い仕事ではあります。——教育の場など、あるんですか？



亀田 結構充実しているんです。今の時代は、女性もジョブアップしていくので、節目にはきちんとした教育があります。教育は聞いておしまいではなく、気づく、知る、そのきっかけにはなりますが、その先自分でどうやってそれを消化していくか、職場自体がOJTみたいな現場なので、意識して実践すれば身になっていくし、また職場で见守る、カバーする、フォローする上司がきちんとケアしていきますから、伸びるんですね。——それで亀田店長のようなわけですね！ さて、最後になりますが、70周年、伊勢丹さんはどうしていられるか？

亀田 駅前でこれだけ大きく商売させていただいているのですから、街への貢献、街に対する役割を果たしていきたいと思っています。私たちは「場」を持っています。トラフィックのいい場所にその「場」を持っているということは、この街で起きていることをご紹介する役割があると思います。70周年のスタートが2017年秋でした。2018年は、普段は簡単には見られないもの、価値あるものを皆さんにご覧いただく機会をもっと増やしていこうと思っています。地域のご紹介を、今以上に力を入れてやっていきます。



【本番】

総奉行を先頭に行列がやってきてそれぞれの役どころに就く。



小笠原流宗家 小笠原清忠氏のご挨拶



流鏝馬射手 本来流鏝馬と呼ばれるのは最初の3騎まで。立川立飛では5騎登場、その四の射手。流鏝馬を稽古する人に外国人は少ない。的中。



宗家嫡男 小笠原清基氏。この日一番速い馬。あっという間に通り過ぎたが、一の的、二の的、三の的、的中で皆中。お見事！



一の射手 走り込みながら扇を高く投げ上げる。この所作をするのは一の射手だけ。



右が日本語の解説 松本昭正さん。左はロバート キャンベル氏。午前に、午後にお疲れさまでした。

一万二千人が興じた日本の伝統文化

鶴岡八幡宮とはだいぶ違う。

浅草の流鏝馬ともちよつと違う。

立川は立川の流鏝馬だった。「平成二十九年十一月十九日(日) 晴天 於…立飛みどり地区」

清水庄平立川市長が総奉行になつての立川立飛流鏝馬。

日本語の解説は、小笠原流大宮教場の松本昭正さん。英語解説は国文学研究資料館長 ロバート キャンベル先生。

遠くは九州、奈良などから、この日のために「馳せ参じて」くださった小笠原流射手や入門者の方々が大勢。

それぞれのお役で懸命に「ご奉仕」してくださった。

矢的を射抜く。それだけではないのが流鏝馬。衣装にも儀式にも、一つひとつに意味があり、それを松本さんが流暢に解説してくれる。

キャンベル先生の解説があるのは立川だけ。モノレールが走り、昭和記念公園の紅葉が背景になる流鏝馬は、とても立川らしかった。



小笠原流関連リンク

「また立川で！」の声

立川立飛流鏝馬



射手は4時半起床でみどり地区に。



立飛 南地区にある5号棟で着替え。小笠原流門人の手によって、立川市長や立川消防署長、立飛関係者の装束が調えられる。



着替えが終わると、それぞれの役どころを清基氏から指南される。



左 清水庄平立川市長
右 増田哲生立川消防署長

【早朝練習風景】

【着替え・準備】

えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。	
曙町	多摩水族館 …………… 524-0288
	すし 魚正 …………… 522-3437
	園部肉店 …………… 522-2901
	Cut Studio SOFIA …………… 528-3241
	レストラン いなつき …………… 528-1470
	立川市女性総合センター アイム 528-6801
	エミリーブローグ 立川高島屋店 526-9788
	立川高島屋 ギフトサロン …… 525-2111
	オリオン書房 ノルテ店 …… 522-1231
	洋食屋 にゅうとん …………… 522-3921
羽衣町	額縁専門店 プリムベール …… 528-6789
	たましん 東立川支店 …………… 524-0611
	ギリシャレストラン SHUPOUL 519-3923
	林歯科医院 …………… 522-5657
	中島豆腐店 …………… 522-5732
	新鮮野菜・惣菜 立川商店 …… 522-3565
	本・事務用品 泰明堂 …………… 522-3353
	本と文具 ないとう …………… 522-3677
	赤松タバコ店 …………… 524-7852
	BB TAKAKA …………… 521-0236
錦町	まごころ銘茶 狭山園 …… 527-0146
	お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267
	めがね・とけい・補聴器 カワハラ 525-4427
	鳥料理 くし秀 …………… 522-7692
	寿司勝 …………… 522-4874
	IL COVO …………… 595-9071
	イタリア料理 トラットリア ドン シェ〜512-8735
	宮地楽器 MUSIC JOY 立川南 526-1779
	カフェといいの penta merone 529-5221
	中国料理 五十番 …………… 522-7472

jorakugajo	
真如苑提供番組「常楽我淨」	
スカパー！：529ch	
スカパー！で放送の常楽我淨は スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。	
J:COM 多摩：111ch	
放送時間については番組表をご確認ください。	
www.shinnyo-en.or.jp	

街の話題

立川は、安心！★

11月10日（金）、立川グランドホテルで「防火のつどい」が開催され、多くの団体・個人のみなさまが立川消防署長より感謝状・表彰状を贈呈されました。集うお顔は地域の防災リーダーとして活躍されている方々。さらにひとりでも多くの市民の方に防災防火の意識を持っていたき、立川消防署に協力して、みんなで住宅火災の根絶を目指していきたいですね！



えくてびあんも「企画調整部長感謝状」いただきました！

第12回たちかわ体操フェスティバルファンタジー★

11月12日（日）、アリーナ立川立飛で、立川市新体操連盟主催のすてきな（発表会）が開かれました。東京都内で活動している、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学、スポーツクラブ、地域の一般体操・ダンスなどのサークルから39チーム、800人が集まりました。自由に表現し、お互いの演技を鑑賞し合う場です。約3000の観覧席はお客様でほぼ満席。えくてびあんも初めて鑑賞しましたが、素晴らしい演技にあったという間の4時間。まさにファンタジーでした。

世界へ！TACHIKAWA DICE★

「立川からオリンピック選手を」という強い思いが、いよいよ世界へ。立川商工会議所、立川商店街振興組合連合会、立川青年会議所、立川観光協会などと市民が一体となって作ったプロスポーツチーム〈TACHIKAWA DICE〉。11月25日に行われた国内最大級3x3バスケットオープン大会の立川ブロック大会で優勝しました。この後は3月のエリアファイナルへ。その先は、世界、です！



中央は立川ダイスのマネージャー 劉生琢行さん

立川落語会 秋の発表会★

「立川の有名人が揃っている落語会。今回は前座の立川亭小はくさん。立川市市史編さん委員会の副委員長ですよ。トリはといえば、立川市教育長じゃありませんか。こんな豪華な面々で、やっていることといえば、毎度ばかばかしい、おっと口が滑った、日本の伝統話芸！空席以外は満席の大盛況！ 来年は新たな試みもあるとかないとか。木戸銭無料、次回は皆さんどうぞよろしく」テケテンテン♪～



大喜利の様子

壽屋さん、上場おめでとうございます！★

2017年9月26日、フィギュアの(株)壽屋さんがJASDAQスタンダード市場に上場されました。おめでたいことです！11月21日（火）パレスホテル立川で上場記念祝賀会が行われました。清水一行社長のご挨拶に続き来賓のご祝辞、鏡割りで乾杯と和やかなお祝いの会となりました。中締めは清水浩代副社長。金融機関のみなさんは、中小企業の将来を信じて援助してあげてほしい、壽屋はそうやって今ここに立っていると、池井戸潤の世界を思わせるお話をされていました。



立川防災航空祭★

朝から雨の11月23日（祝）。陸上自衛隊立川駐屯地で立川防災航空祭が開催されました。清水市長のご挨拶にもありましたが、今までで初めてではないかなと思われる、警視庁航空隊長、消防庁航空隊長の同席のもと開会のセレモニー。立川駐屯地創立44周年、東部方面航空隊創隊55周年のお祝いもありました。災害時にはありがたい存在の自衛隊です。



★印のついている記事は、えくてびあんのブログ「立川は Ecoutezbien えくてびあん」に詳しく掲載されています。



「むらり～2017」のぞいてみました

武蔵村山市商工会 青年部からご連絡をいただいて、武蔵村山市で行われた「むらり～2017」をお訪ねしました。武蔵村山市＋街バル＋ぶらり街の再発見、これが「むらり～2017」の目指すところ。交通の便が悪いという弱点を、真如苑助成金でマイクロバス4台をチャーター。開催時間中、街バル参加店舗を巡回してくれるということでした。お店は賑わって、バスもサクサク巡回していて、とてもいい感じでした。



秋野菜の「1日だけのレストラン」★

立川の農家は多方向に頑張っている方が多いです。このイベントもそのひとつ。「鈴木農園 1日だけのレストラン」。お客様が開催を楽しみに待っています。鈴木農園の完全無農薬野菜を使ったお料理を、料理人のみなさんが出張提供。サツマイモのキッシュは優しい味。牛ホホ肉の煮込みに入っている大根は洋風おでん。透き通った出汁のモツ煮込みも野菜たっぷりでした。サクスのライプやドーナツ、珈琲の販売もあり、かいじゅう屋さんのパンとともに、楽しませていただきました。



おじゃましま～す！——[60]

ラポール Rapport

立川駅南口から徒歩30秒という立地！1階にラーメン屋さんが入るビルの7階です。エレベーターを降りたらすぐ店内。若い店長、若いシェフが切り盛りし、若いスタッフが頑張っています。裏表紙でご紹介したように、野菜をおいしく食べさせてくれるお店。立川産の瑞々しい野菜を一番おいしく調理するには、まず切り方から考えるという



シェフ。「食感を生かすには、切り方を工夫します」ということでした。たしかに、サラダをいただくわかります。お魚もおいしいのですが、やっぱりお肉がおいしい。

仔羊の串焼きも、霧島黒豚の肩ロースも、焼いただけのはずなのに、おいしいこと、おいしいこと。びっくりでした。どうも焼き方に秘訣があるらしい。突っ込んで聞くと「企業秘密」と言われます。ランチもちろんやっています。週替わりのパスタはソフトドリンクとのセットで700円。サラダがつくと800円。その他に1200円のパスタ料理もあります。今はオマール海老を半身使ったリングイネ。6名様までの個室もあります。冬でも暖房完備のテラス席は貸し切りにもできます。年末年始、終電を逃したらラポールへ。朝の5時まで開いてます。



オマール半身のリングイネ

Bistro / Bar



〒190-0023

立川市柴崎町 3-3-2

立川ステーションビル7階

TEL 042-529-3088

営業時間

ランチ 11：30～14：30(LO.14:00)

ディナー 17：00～22：00(LO.22:00)

バー 22：00～5：00（LO.4:30）



表紙の人

市村 博さん、弘一さん、彰梧くん

立川駅南口錦町にある市村酸素株式会社をお訪ねしました。創業は昭和24年、博さんが二代目です。外からはわかりにくいご職業、いろいろ説明していただきました。一般高圧ガス、特殊ガスの製造・販売はなんとなくわかります。各病院の名前が書かれたガスボンベ、病院から緊急の連絡が入ると夜中でも酸素を手配することがあるそうです。販売先には機器も一緒にご紹介。弘一さんには元素記号から教えていただくことになり、今回も大変勉強になりました。1月号と申し上げましたら、博さんの奥様が風船をたくさん用意してください、社長自らヘリウムガスを充てん。さすが、ガス屋さんです！最近 は駐輪場システムのご商売もされていて、近隣市にはたくさん市村さん式駐輪場があるそうです！この秋、七五三を迎えた彰梧くん。サッカーが大好きなんですよって。

かたこと

◆2018年、戊戌になりました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます◆この時期えくてびあんは、極地研の中村卓司所長に教えていただいた方法で、立川から見えるダイヤモンド富士を追いかけています。中途半端な写真を撮りたくないのがえくてびあん。きちんと富士山頂に太陽が接する瞬間を撮影します。各所にご協力いただいての撮影。感謝感謝で掲載します◆ある新聞社の立川支局長から「えくてびあんさん、日刊紙にしたらどう？」と言われるほど、毎日毎日話題が絶えない立川です。「あにきゃん」や「みのーれ収穫祭」など、残念ながら掲載しきれなかった話題はブログにあります。2月には立飛みどり地区着工。赤トンボ保育園も開園に。上場された壽屋さんのTwitterはすでに媒体となっていますし、伊勢丹さんも地域情報を提供されるとか。うかうかしていると「えくてびあん」が震んでしまう？そのくらい目に見えない空間も混みこみな立川です◆そんな時は深呼吸。浮足立たず足許を見直して、えくてびあんらしくしっかりやっていこうと思います。今年ももちろん「立川と語ろう 立川に生きよう」！皆さまもよい1年をお迎えになりますように。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

1月号 第35巻 通巻398号

平成30年1月1日発行

発行 有限会社えくてびあん

〒190-0023

東京都立川市柴崎町 2-1-10 高島ビル 4F

TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065

E-mail message@tamatebakonet.jp

URL http://ecoutez.exblog.jp

発行人 黒須 環

企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ

デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）

印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

Écoutez Bien January 2018 No.398



立川 LOVE

立川野菜とお店のコラボ

6



大根がおいしい季節です。大根にも種類がたくさん。切っても切っても中まで緑色の大根は、大根おろしにするとちょっと目先が変わってきれいです。逆に赤い大根も、サラダの彩に欠かせません。皮が黒くて中が白い大根は、生だと辛いけれど煮ると甘くなります。30品目の食べる野菜スープ ミネストローネ。30品目をうかがうとニンジンや大根が数種類ずつ。ブリ大根と名付けていますが、これは炙りブリ。半生です。鰻の出汁とサフランで煮た大根5種に乗せたラポール風。小山農園の野菜はとってもおいしいとシェフ。この冬は、立川産の大根で料理を楽しんでみませんか？

ビストロ & パル

ラポール (Rapport)

(お店の詳細は7ページにあります)